



特定非営利活動法人

奈良県防災士会 広報

(日本防災士会奈良県支部)

2016/JAN

No.14

bousainara.com

新年挨拶

あけましておめでとうございます。

旧年中は会員各位を始め、関係機関皆様方の格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。お陰さまをもちまして日本防災士会奈良県支部は、昨年開催いたしました第7回総会（特定非営利活動法人設立総会）を以って、特定非営利活動法人奈良県防災士会として新たな一步を踏み出すこととなりました。今後は、会員の皆様のご理解、ご協力を得ながら“防災協働社会”の実現をめざすべく決意を新たにいたしております。

いつどこで災害がおこっても不思議でないとされる今日、昨年も常総市を始めとした北関東、東北地方で発生した大水害は記憶に新しいところです。

災害が起こるたびに、自然の力の前には人間の力がいかに無力であるのかを痛感しておりますが、防災士として、防災士会会員として、これまでの活動を再度見つめ直しながら、奈良県下における地域防災活動をいかに進めて行くのか、全国で発生した災害にいかに対応するのか課題は山積みであります。特に、近々起こると言われて久しい南海トラフ地震に備える事は重要です。同時に、専門家が警鐘を鳴らす南海トラフ地震に誘発されて起こりえる活断層型地震にも備えなければなりません。

昨年は、私の知る限りではありますが県下約80ヶ所の地域や団体の方々から防災研修等のご依頼がありました。県下における防災士会の認知度が上がりつつあると考えており、寝る間も惜しんで県下各地へ赴いている会員各位の努力の結果でもあります。誠に力強い限りです。ただ、各地域や団体での指導となれば会員全員が参加できている訳ではなく、一部会員に限定されるという課題が浮き彫りになってきました。今後は、全ての会員が、どこでも誰でも赴けるように自らのスキルアップが求められていると考えるべきでしょう。

どんな災害が起こるのかは地域によって違うのです。自分の地域を知り、町や人を知らないとは災害には備えられません。

会員各位におかれましても、おごることなく目の前の課題を一つひとつ着実に取り組んでいく一層の努力と、防災士及び防災士会会員の使命を果たされんことを心から祈念し、新年のあいさつといたします。

ともに頑張りましょう。

[理事長 植村信吉]



■奈良県防災士会 役員のご紹介

理事長 植村信吉

副理事長 井上 清、奥田英人（南和ブロック長兼任）

理事 末田政一（事務統括） 古瀬博之（奈良市ブロック長 JP 担当）

岩野祥子（経理統括） 松尾 修（北和ブロック長）

山口正春（研修部長） 村山 央（中和ブロック長）

勝川喜仙（広報部長） 南上敏明（被災地支援リーダー）

柏田勝幸（県アドバイザー講師団 団長）

田中太加雄、平井紳二、伊藤東洋雄、高岡宏芳、大北容子、佐古金二郎

監事 大久保喜治、窪井紀子

顧問 木本喜信、中田勇四郎、前川輝男

参与 木村尚史

活動報告

■ 2015 年(平成 27 年)8 月～12 月の活動



8/15 新聞紙スリッパ、
ポリ袋ポンチョ作り (奈良市)



8/25 紙芝居による防災講習 (奈良市)



10/18 避難所運営訓練「HUG」 (奈良市)



10/23 避難所宿泊体験 (河合町)



11/7 「あっぱくん」による心臓マッサージの補助 (御所市)



11/15 ロープワーク (上牧町)



12/15 法隆寺における避難誘導訓練 (斑鳩町)



12/15 避難所運営訓練「HUG」 (斑鳩町)

月/日(曜)	イベント	市町村名	主催者又は要請団体	派遣内容
8/6(木)	教職員消火訓練	三宅町	式下中学校	消防ＯＢとの連携、消火訓練
8/8(土)	第２回防災代議員研修	奈良市	六条校区自主防災防犯会	クロスロードゲーム
8/9(日)	王寺町防災訓練 水害対策確認訓練	王寺町	王寺町役場 総務課	ロープワーク、三角巾、簡易担架の実技訓練
8/15(土)	お天気フェスタ	奈良市	奈良地方気象台	新聞紙スリッパ、ポリ袋ポンチョ作り、段暖ベッド等防災グッズ展示
8/20(木)	平城女性防災クラブ HUG 研修会	奈良市	平城女性防災クラブ	避難所運営訓練「HUG」
8/21(金)	学校教員へ向けて防災研修	奈良市	奈良市立京西中学校	テーマ「防災と地域連携」
8/25(日)	針自治会防災講習	奈良市	都祁地区自主防災防犯会	防災紙芝居、地震の時の身の守り方解説、防災キッズ歌
8/29(土)	奈良県防災総合訓練	大和高田市	奈良県	避難所運営の基礎知識、プチシェイクアウト訓練、簡易担架の訓練
8/30(日)	宇智地区防災講習会	五條市	宇智地区自主防災会	防災関係者対象の講習会 テーマ「過去の災害から学ぶ」
8/30(日)	DIG 研修会	広陵町	広陵町役場危機管理課	災害図上訓練「DIG」
9/1(火)	河内長野市 DIG 研修会	河内長野市	消防庁（河内長野市）	災害図上訓練「DIG」
9/5(土)	子供災害サバイバル	東吉野村	県防災士会	野外災害サバイバル宿泊研修
～6(日)	指導者研修			
9/6(日)	四条新町防災研修会	橿原市	四条新町自主防災会	テーマ「災害時の初期対応」
9/18(金)	斑鳩町職員 HUG	斑鳩町	斑鳩町総務部総務課	避難所運営訓練「HUG」
9/20(日)	吉野町飯貝地区 HUG	吉野町	県防災支援事業	避難所運営訓練「HUG」
9/23(祝)	災害ボランティア	常総市	本部	災害ボランティア派遣
9/26(土)	本部研修会	大阪市	本部	岩野防災士講演
9/27(日)	防災実技訓練	平群町	下垣内自主防災会	包帯や三角巾の扱い方、ラップやパンストで手当て、応急担架搬送
9/29(火)	シニア地域貢献実践者養成講座	奈良市	地域づくり支援機構	
10/6(火)	シニア地域貢献実践者養成講座	橿原市	地域づくり支援機構	
10/18(日)	帝塚山地区防災訓練	奈良市	帝塚山地区自主防災・防犯会	避難所運営訓練「HUG」、暖段ベッド展示
10/23(金)	避難所体験訓練	河合町	河合第二中学校、PTA 他	「あっぱくん」による心肺蘇生訓練
10/24(土)	はじめてのボランティア学習会(防災)	橿原市	県ボランティアセンター	アドバイザー派遣
11/5(木)	たんぽぽの家地震対策講演	奈良市	たんぽぽの家	地震対策の勉強会
11/7(土)	御所市防災訓練	御所市	御所市	「あっぱくん」による心臓マッサージの補助
11/8(日)	郡山矢田山地区防災フェア	大和郡山市	大和郡山市矢田山町連絡協議会	暖段ベッド／トイレ
11/8(日)	三室自治会訓練	三郷町	三室自治会防災部	防災紙芝居
11/13(金)	市民公開講座「防災シンポジウム」	奈良市	(社団)日本建築家協会近畿支部	パネラー参加
11/14(土)	ブロック会議（中和）	三宅町	県防災士会	D I G 第 3 段階研修会
11/14(土)	ブロック会議（南和）	橿原市	県防災士会	D I G 第 3 段階研修会
11/15(日)	ブロック会議（北和）	大和郡山市	県防災士会	D I G 第 3 段階研修会
11/15(日)	ブロック会議（奈良市）	奈良市	県防災士会	D I G 第 3 段階研修会
11/15(日)	桜ヶ丘自治会防災訓練	上牧町	桜ヶ丘 2 丁目自治会	簡易担架、ロープワーク
11/18(水)	田原本職員向け HUG	田原本町	田原本町総務課	避難所運営訓練「HUG」
11/29(日)	三村区合同防災訓練	十津川村	県防災支援事業	
11/29(日)	桜井芝打合町防災研修	桜井市	芝打合町自治会	アドバイザー派遣
12/6(日)	三郷里ヶ丘緑ヶ丘 連合訓練	三郷町	里ヶ丘・緑ヶ丘第一、 信貴緑ヶ丘連合自治会	家具の固定講座、防災紙芝居 新聞紙スリッパ
12/7(月)	三笠中学校クロスロード	奈良市	佐保川地区自主防災防犯会	クロスロードゲームと防災授業
12/9(水)	奈良市自主防災会会長対象 HUG	奈良市	奈良市自主防災防犯協議会	49 名自主防災会会長対象 HUG
12/13(日)	都祁地域防災講演会	奈良市	都祁地区自主防災防犯会	講師派遣
12/15(火)	法隆寺防災訓練（HUG）	斑鳩町	法隆寺、斑鳩町役場	シェイクアウト訓練、HUG
12/15(火)	青葉仁会防災訓練	奈良市	社会福祉法人青葉仁会	講評

■野外災害サバイバル宿泊研修会の開催

平成 27 年 9 月 5 日（土）6 日（日）、東吉野ふるさと村において、奈良県防災士会主催の「野外災害サバイバル宿泊研修」を、宿泊 15 名と日帰り 4 名の合計 19 名で行いました。初日はパーソナリティの菊地朋美さんをお迎えしての紙芝居研修を行い、前回の研修会で好評だった紙芝居の活用方法を学びました。



菊地朋美さんの紙芝居模範実演

初日の実践講習では、缶詰やビール等の空き缶にアルミホイルとティッシュペーパーとサラダ油でランタン作りを皆で体験し、夜間講習の明かり確保の準備をしました。



災害時を想定した食事作りでは、3 班にグループ分けをして、自宅にある物を持ち寄った材料で何が出来るかを実践しました。苦労するグループが出るかと思いましたが、予想以上の出来で普通のキャンプより豪華な食事となりましたが、災害時を想定して「ビニール袋」「竹」「空き缶」を使った炊飯を学びました。

日暮れより河原へ移動してのキャンプファイヤーでは、点火の仕方の講義から、子供向けに皆で楽しめる各種プログラムを実践。来年度の講習に向けての練習を行いました。

翌日はラジオ体操から始まり、昨日の材料を使って朝食作りは、短い時間で工夫して温かい食事を作りました。

災害に役立つ竹細工を寺川防災士の講義で、箸・スプーン・器・スコップ・炊飯器等の作り方を学び、知識を応用して皆で楽しく制作をしました。

午後からは雨脚が強くなり、川での講習は中止となりましたが、子供向けのゲームを実践したりして、楽しみながらも充実した二日間の研修会となりました。

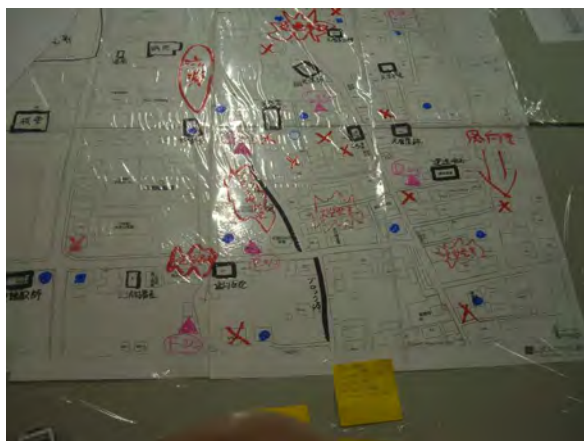
今回の野外研修では、真面目な中にも遊び感覚で取り組めた事により、知識向上に加えて防災士同士の親睦も深まりました。

奈良県防災士会では、今後も楽しく学べる機会を設けていきますので、初めての方も気軽にご参加下さい。
＜末田政一防災士＞

■ブロック会議開催の報告

平成 27 年 11 月 14 日（土）、15 日（日）の午前、午後、ブロック会議が行われました。

奈良市 22 名、北和 7 名、中和 21 名、南和 6 名の会員が参加し、研修会では、第 3 段階の D I G を経験するとともに、次は自分も自治会でやりたいのでプレゼン資料をほしいと、熱の入った研修になりました。



■ “救急フェスタ” 「いのちのリレー大会」で特別賞受賞

11月3日（祝）JR 京都前広場において開催された“救急フェスタ”「いのちのリレー大会」（主催：JR 西日本あんしん社会財団）に奈良県防災士会の柏田、松尾、高木防災士が出演し、“特別賞”を受賞しました。

この大会は、幅広い年代の方に「救急現場に居合わせた時の救命処置」の重要性に関心を持ってもらうことを目的に JR 西日本あんしん社会財団が開催しているもので近畿2府4県から15組（3人ひと組）がエントリーし、倒れている人を発見してから、救急隊に引き継ぐまでの心肺蘇生法の一連の処置を行うものです。

出場した３名は、平均年齢〇〇才というどちらかと言えば高齢者といわれる年代ではありますが、日頃の研修等で直接指導を行っている方でもあり、見事なスキルを思う存分発揮されました。

大会の最優秀賞は、小学5年生3人の京都府山科地区BFCチームでした。奈良県防災士会から応援に駆け付けた植村理事長、井上副理事長、毛利防災士、北村賛助会員から「この小学生チームはすごい！」と感嘆の声が上がるほど完ぺきな救命処置が披露され、今更ながらに日頃の訓練と、この小学生を育てた方への敬意を含めて指導者の重要性を認識した一日となりました。

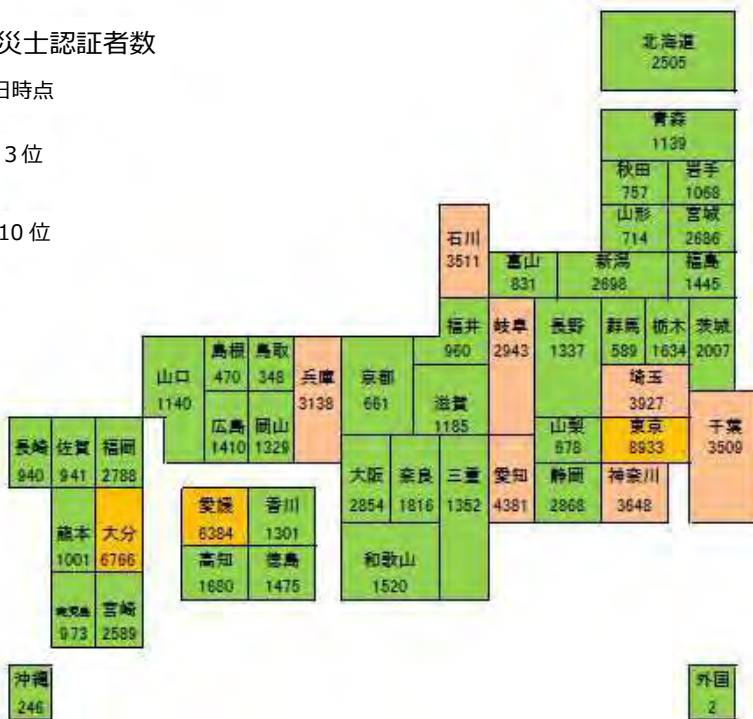
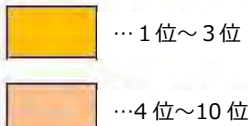
〈防災士 植村 信吉〉



防災士認証者が10万人に！

都道府県別 防災士認証者数

平成 27 年 10 月末日時点



出展：特定非営利活動法人日本防災士機構ホームページ

阪神・淡路大震災の教訓から、防災に関する知識やスキルを持った人材＝防災士を育成し、社会のあらゆる地域や職場で防災士が活躍することが必要であるという理念から NPO 法人日本防災士機構が進めてきた防災士認証。日本防災士機構によると平成 27 年 10 月末現在 99,077 人で、今年度中には 10 万人を超えることが確実となるようです。日本防災士機構では、10 万人達成を祝い記念行事を計画中と聞き及んでおります。

同じく、奈良県での認証者数は 1,816 人で、現在講習中の約 300 人を加えると 2,000 人を超えると予測されます。ただ、私どもの NPO 法人奈良県防災士会への加入は 323 人（平成 27 年 10 月末）ですから防災士会への加入率は極めて低いものの、全国各支部の加入率と比較すると極端に悪い訳ではありません。

いずれにせよ防災士の仲間が全国で 10 万人になるということは喜び合いたいものです。

【震災遺構の存知・撤去考】

震災遺構を残すか撤去するかについて、各地で議論が沸騰している。気仙沼市の南隣の南三陸町では防災庁舎を残すかどうか議論した結果、「震災を思い出す」、「経費が掛かる」などの理由から撤去が決まった。



宮城県南三陸町 防災庁舎

※H25,11,22 現在、村井知事(有識者らの判断を待つべき)と佐藤仁町長(解体を譲らない)の間で対立中。
H27,3 の有識者会議の結論が出るまで解体を保留するで合意。
H27,1 震災から 20 年間は県有化して保存し、その後最終決定するよう町に提案。佐藤町長は 3 月 15 日現在回答を保留。

気仙沼市でも港から 750m ほど離れたところに打ち上げられていた『第十八共徳丸』(全長 60m、重量 330t)の存廃について住民にアンケート(全世帯)を取った結果、同様の理由から約 68%の住民の意思で撤去することとなった。

(解体費 500 万円 H25,9,9~10,19 解体済)



港から 750m の内陸に打ち上げられた第十八共徳丸

※感じたこと・勉強になったこと

- ・撤去することに賛成の住民が多かったためこの結果は尊重してよいと考えるが、アンケートの結果が例えば 60%対 40%であったり、55%対 45%、また、51%対 49%という結果が出た時でも（たとえ 1 票違いでも）その結果を尊重すべきかどうか、取り扱い方の難しさを感じた。

【公務員考】 民間企業の会社員から初めての公務員を体験して

被災した下水道施設の復興と新しく整備される防災集団移転事業や災害公営住宅整備事業に伴う下水道整備事業の計画・設計・施工に従事した。

その業務を通して勉強したり感じた公務員という職柄について述べる。

- ・市民に対する利便の提供が市職員・地方公務員の職務であるが、徒に市民に対して迎合することなく自信と誇りを持って職務に専念するべきだと思う。
- ・組織上市の上部組織として県が、県の上部組織として国があるが、上部組織の指示・命令といえども改善や不合理な点があれば対等の立場で議論し、改善すべきは改善するという姿勢を持つべきであると痛感した。
- ・上部団体からの要請により各種報告書などの作成に追われる毎日である。要請する側は一度であるが、受ける側は多方面からの要請を受けるのでそのことに掛かりっきりで、本来の職務を消化できないという状況である。市民サービスに悪影響を及ぼす。
- ・公務員には守秘義務があり、市民への公平なサービスの提供が求められる。このことを意識しすぎると、提供しても良い情報を非公開にするとか、安易に前例踏襲主義（前任者の例がある）に走ることに繋がるのではないだろうか。そしてこれが昂じれば、やがては市職員の判断能力が退化し、結局市民サービスの低下を招くことになる。

その被害者は市民である。また、公務員には信頼性、確実、安全性も求められるが、同様にこのことが新たな環境の変化への課題解決・対応能力を鈍化させることに繋がり兼ねないという懸念がある。

- ・日常業務において、業務の更なる改善とか効率向上に努力しなければならないといった意識を持つような雰囲気作りはできないものか。
- ・時間とお金に関する感覚をもっとシビアに高められないか。

※感じたこと・勉強になったこと

- ・事なかれ主義を廃絶し努力するものが年功に拘わらず報われる仕組み（アウトプットではなくアウトカム）は作れないものかなー。

【最後に】

気仙沼市内の飲食店街はプレファブ造りの復興屋台村などで現在営業している。市職員も多くの自治体からの応援職員などで成り立っていることから、自治体職員が数ヶ月から半年、一年で交代する度に歓送迎会をする。その機会に町中を覗くと市内の繁華街はどこも活況を呈しているという状態である。経済的復興に向け喜ばしいことであるが、復興に目途が立ち、一段落したあと応援職員や建設関係の人たちが引き上げた後のこの町がどうなるのだろうか、余分なことも心配される。

商店街復活



災害支援活動

常総市支援活動の報告

〈板垣 伴之 防災士〉

平成27年9月23日(水)日本防災士会が実施した「常総市被災地支援ボランティア」第1次派遣に参加しました。早朝、東京駅を出発し常磐線取手駅で関東鉄道に乗り換えましたが、水海道以北は不通になっており、タクシーを使うしかなかった状況でした。防災士のボランティアは総勢57名で、本部・茨城県・東京都・千葉県・埼玉県の防災士が主体でした。ボランティアセンターでのマッチングの後、1グループ15名くらいに分かれて、被災家屋の後片付けの作業をしました。



私のグループは、常総市沖新田町の旧建物と新築家屋及び作業所で、家具の水洗い・乾燥・消毒や床板の撤去・床下の泥の撤去・水洗い、障子・網戸・雨戸・ふすまの水洗い・乾燥などの作業を行いました。この辺りは、支流の八間堀川が鬼怒川の影響で水があふれ住宅の床上まで浸水、家族は二階に避難し、ベランダからヘリコプターに救助されたそうです。水道が復旧しておらず飲料水はペットボトルに頼っていましたが、井戸水があったので作業は容易でした。ただ、ご家族にとっては毎日が泥との戦いであり大変なご苦労と思います。水害前に収穫された田んぼにコンバインで切断されたわら屑があったため、泥と共に切わらが流されて来ていました。未収穫の田んぼの稲は倒れていて大変な損害と思われます。粗大ごみなどの収集が追い付かず、道路に山積み状態のところが多く目につきました。常総市役所周辺も消毒薬の臭いが残っており、回復までまだ時間がかかる状況です。作業終了後、ボランティアセンターが用意したバスでつくばエクスプレスの最寄り駅まで送迎してもらいましたが、高校生や大学生が多数乗車していて頼もしい限りでした。

今後の活動予定

■年間予定について

1月24日(日) 14:30～16:30 定例研修会、17:00～19:30 懇親会

場所：奈良県社会福祉総合センター

講師：丸山浩 防災気象官(奈良地方気象台)

内容：①活かそう情報、防ごう災害、正しい知識、確かな情報があなたを守る

②防災士に宛てて

5月：第4日曜日 奈良県防災士会総会(終了後研修会)

7月：第1土曜日 定例研修会

防災士ベスト販売中！残りわずかです！

左胸に「奈良県支部」の名称を入れた、防災士ベストを販売しています。価格は2,500円(税込)です。「NPO法人 日本防災士会」の頒布ベストよりお得にご購入いただけます。ぜひご活用ください。

○頒布価格 2,500円(税込)

○カラー 緑(1色)

○サイズ F(L)、XL、XXL(3サイズ)

※XXLサイズは在庫僅少です。お早目に！

●申し込み先、支払方法など、詳しくはホームページをご覧ください。

●研修会場などで販売する場合もございます。



着用例：サイズF(L)(身長160cm)

サイズ	F(L)	XL	XXL
着丈	69	72	75
身幅	56	59	62

(単位：cm)

事務局からのお知らせ

奈良県防災士会のウェブサイトをご存知ですか？イベントのお知らせや、活動報告は、<http://bousainara.com>でチェック！

奈良県防災士会のウェブサイトで、県内で開催される防災訓練の情報をお知らせしています

→<http://bousainara.com/notice>

スキルアップのための見学が可能です。見学を希望される登録防災士は、「連絡先」に記載のある担当防災士に連絡の上、ご参加ください。皆さまの積極的なご参加を心よりお待ちしております！

投稿記事募集！

奈良県防災士会会員の皆さまからの、「災害復興支援」や「防災訓練」の活動報告をお待ちしています。当会のウェブサイト、Facebookページ、広報誌で公開可能なレポートをお寄せください。

●送り先 mail@bousainara.com

●テキストおよび写真(肖像権など差支えないもの)をお送りください。



奈良県防災士会のFacebookをスタートしました！さまざまな情報をアップしていきます。「いいね！」をよろしくお願いします。

<https://www.facebook.com/bousainara>

■発行日 2016年1月1日

■発行者 特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 植村信吉
〒636-0215 奈良県磯城郡三宅町上但馬 1-5

■編集 特定非営利活動法人奈良県防災士会 広報部会

■E-mail mail@bousainara.com

■TEL 090-4902-0901

■ウェブサイト <http://bousainara.com>

■Facebook <https://www.facebook.com/bousainara>